

近畿経済産業局「産業観光モデルコース設定支援事業」行程案

平成28年3月16日(水)

時間	内容	備考
9:20	グランフロント出発	
10:15～11:50	ダスキンミュージアムドーナツ体験	10分前に受付
11:50～12:30	移動	
12:30～13:00	昼食① なるを	ちらし寿司の仕上げ体験
13:00～13:05	移動	
13:05～13:30	昼食② おいしんぼ	焼きそば・たこ焼き作業見学
13:30～13:35	移動	
13:35～14:10	昼食③ 魚徳	天ぷら作業見学
14:10～15:00	商店街を散策	
15:00～16:00	旧西尾家住宅見学(お茶体験含む)	
16:10～16:30	浜屋敷でだんじり見学	

- ①なるを 吹田市朝日町5-26
 ②おいしんぼ 吹田市朝日町5-20
 ③魚徳 吹田市朝日町27-23

感想レポート

・願（コ） 乃川 さん

今回は吹田市モデルコースを体験させていただきました。まず吹田市に対するイメージは、大阪府全体においてもっとも立地の良い住宅地域であり、民度は非常に高い。社会施設は充実しており、生活しやすい町です。また万博の開催地でありながら、アサヒビール、ダスキン、エースコックなどの大手企業が集結し、歴史と発展が溢れる町と思っています。今回はダスキンミュージアムドーナツ体験、商店街散策、旧西尾屋住宅見学、浜屋敷だんじり見学を体験させていただき、吹田市の歴史を再認識することができました。

その中、一番印象に残ったのは、ダスキンミュージアムの中に陳列された掃除用具でした。ダスキンは専門の掃除会社であることは、以前働いたアルバイト先で知ることができました。モノをキレイにすること、一見簡単に見えるが、先人の計り知れない知恵と苦勞が含まれていると気づきました。たった一つの箒は、使う場所により、様々な仕様と形状に分けられています。自然からできた素材をできれば最大限に利用し、長く使い続けることは、モノを大切にすることだけでなく、自然そのものに対する敬意を払い、地球に優しいアイデアでもある。私は掃除すること自体は、心をキレイにする過程でもあると思っています。今回の見学で日本の掃除文化を大変勉強になりました。これからは留学生の架け橋の役割を果たして、日本の掃除文化と吹田市の魅力をもっと世界へ発信したいと考えています。

・礼（レイ） 済間 さん

行く前には吹田市に対するイメージは大阪大学の吹田キャンパスとアサヒビール工場だけでした。モデルコース体験後はダスキンミュージアムや吹田市の歴史的なところにはとても興味を持つようになりました。違う年齢層や家族連れの観光客にも向いていると感じていました。

私にとって一番印象に残ったのは浜屋敷だんじりでした。あそこではただの展示なところだけではなく、現在はリフォームによってちゃんと市民に利用されているところはとても素晴らしいと感じていました。各部屋もトイレなども考えた上に改造したので、とてもいいなあと思っていました。落語はとても聴きたかったです。

なお、まち案内人のボランティア組織があるとは初めて知りました。コースが15まで作りあげて、すごいと思っています。実は京都ではボランティアによる案内をお願いしたことがありまして、大阪でもまさかあるとは思っていませんでした。もし、英語兼ねての紹介があればぜひ外国人たちに利用してもらいたいと思います。

・法（ホウ） 卉 さん

モデルコースに参加する前に、吹田市に持っているイメージとは「梅田といった都心地から離れているところ」だけで、大阪大学と万博記念公園があるということで、文化的な、歴史のある地域だと思っていますが、今回のモデルコースを通じ、他のたくさんの魅力点も発見できました。

今回のコースの中で、私が一番魅力を感じたのは旧西尾家住宅でした。本当にご立派な屋敷でしたね。日本に来てこのような屋敷何個も見ましたが、このように和洋兼備の屋敷を見たのが初めてです。更に茶室も付いていますので、ここに来ると、日本の伝統文化、歴史そして建物自身という3つのところを堪能することができますと思います。今回のコースの中で一番友達にすすめしたいところですね。さらに、あそこでお茶体験もできまして、誰でも気軽にお茶を一服いただけるところはいいと思います。ボランティアの先生もいるので、分からないところなどがあればいつでも熱心に説明してくれるところもすごくいいと思います。ただし、今回一番残念と思ったのは庭にある茶室に入れなかったことですね。茶室を開放する時間は限られているみたいですが、その開放時間をもう少し長くしていただきたいですね。

・唐 思南（みなみ）さん

モデルコースはいろいろ参加させていただいてありがたいです。でも、いままで参加したコースから見れば、面白いは面白いですけど、海外の観光客とか、実際日本に住んでいる外国人さえ知らないことが多いです。ですから、コースの改善より、宣伝もすごく重要だと思います。

今回のコースの中で、商店街について一番印象深いです。大阪の天満宮商店街など、いくつかの商店街行ったことがあって、日本の商店街は中国人の私から見れば、だいたい90年代の雰囲気が強くて、売っている服もお年寄りむけのものが多いです。今回のツアーに参加して、また商店街にある料理屋にもすきになりました。なぜかという、中国ではいろいろあって、何十年も続けられる店はあんまりいないです。ですから、このような雰囲気が親切で、魅力的だと思います。なお、今回のコースに参加し、日本の料理職人と交流できることがすごく素晴らしい経験だと思います。最近、日本の寿司職人を紹介するドキュメンタリーは中国においてすごく人気があって、日本の料理店で一回でも体験したいと思っている人は大勢にいると思います。今回、日本の寿司職人に直接に交流ができ、彼らのこだわりや独特の美意識などを了解することができました。この経験を是非中国の友達に伝えたいと思います。

写真



初めてのドーナツ作りに没頭！



ダスキンミュージアムの前で集合写真！



寿司屋「なるを」でお寿司を堪能しながら職人のおじいさんといろいろ話しました。この店でもう 50 年近く働いているという話を聞いて、みんなはすごく感心しました。



「魚徳」という家族経営のお店でおいしい押し寿司と天ぷらをいただきました。



旧西尾家住宅で珍しいひな人形を発見！



浜屋敷で、親切なボランティアのおじいさんから、屋敷の歴史と現在にまつわる話をいろいろ教えていただきました！